

内容刷新

## 2018 眼光学チュートリアルセミナー

理解し易い

— 眼科医・視能訓練士・オプティカルエンジニアのための —

【日 時】 2018年7月28日(土) 9:30~18:15  
29日(日) 9:00~15:35 2日間

## 本チュートリアルの趣旨と特長

日本の QOV (Quality of Vision) は、眼光学に関心の深い眼科医、視能訓練士、理工系の研究者、それと関連する企業の尽力により、世界的に見ても高品位に保たれていますが、実際の臨床現場ではより深い眼光学の知識を必要とする機会が多くなっています。そこで、知っておくべき、あるいは臨床で困ったときに役立つ光学知識を、眼光学の観点から解りやすく解説するセミナーを開催します。

今回で第11回目を迎えますが、既に約1,400名の方が受講され、たいへん好評を博しております。本年度も、前回アンケート結果をふまえて大幅に講義の見直しを図りました。眼科医、視能訓練士はもちろん、オプティカルエンジニアの方にも有益な内容となっておりますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

## ☆ 前回のアンケートより (一部抜粋)

- ・ 明日からの臨床の場で使える内容が良いです。Drしか知り得ない情報を自分にも知ることができて良いです。トピックス(OCTや波面センサー、収差の問題)が面白いです。
- ・ 眼鏡レンズの講義内容は、すぐ実践できるような気がしました。
- ・ セミナーでは最新の検査機器でのデータが多く、当院にもあったらいいなと思いました。知識が増えたことで患者さんの目を診て得たデータに対する見方が変わり、工夫した検査ができるように活かしていきたいと思えます。
- ・ 視能訓練士ですので、あやふやにしていた用語が理解できたので、より深い理解と見る目を持ってデータを出していこうと思えます。
- ・ 日常の業務(臨床)に活用したい。多種の専門分野の内容を聴くことができたので大変勉強になりました。

【スケジュール】 裏面をご覧ください。(多少の変更はご了解下さい)

【主催】 日本眼光学学会、一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会

【後援】 公益社団法人日本視能訓練士協会

【認定事業】 公益社団法人日本視能訓練士協会 生涯教育認定事業

【会場】 機械振興会館 地下2階ホール (東京都港区芝公園3-5-8)  
(アクセス <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)

【交通】 【地下鉄】 東京メトロ日比谷線(神谷町駅下車 徒歩8分)  
都営地下鉄三田線(御成門駅下車 徒歩8分)  
都営地下鉄大江戸線(赤羽橋駅下車 徒歩10分)  
都営地下鉄浅草線・大江戸線(大門駅下車 徒歩10分)

【JR】 山手線・京浜東北線(浜松町駅下車 徒歩15分)

【東京モノレール】 浜松町駅下車 徒歩15分

【参加費】 日本眼光学学会会員:25,000円 JOEM会員:25,000円  
(公社)日本視能訓練士協会正会員:15,000円 研修医/学生:15,000円  
— 一般:30,000円 (テキスト・カラー版CD代,消費税込)

【申込期限】 2018年7月20日(金)まで (定員(200名)になり次第締め切ります。)

【申込方法】 お申込みフォームは下記のURLからお入りください。

お申込み受付後、一週間以内にJOEMから申込責任者宛に受講票と請求書をご郵送いたします。一週間経ってもお手元に届かない場合はお手数ですがご連絡をください。  
[http://www.joem.or.jp/moushikomi\(g\).htm](http://www.joem.or.jp/moushikomi(g).htm)

※ 参加費の払い戻しはいたし兼ねます。お申込みされた方のご都合が悪くなった場合は、代理の方がご出席下さいますようお願いいたします。

【振込先】 口座名:一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会  
取引銀行:みずほ銀行 神谷町支店 普通預金 2187994

【申込先及び問合せ先】 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-22  
TEL:03-3435-9321 FAX:03-3435-9567 E-mail:info@joem.or.jp

※本セミナーは土日開催となりますので会場周辺には営業している飲食店が少ない為、お弁当を販売する予定です。ご利用の方は当日受付の際に食券をお求めください。

**JOEM** 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番22号 機械振興会館館内  
TEL (03)3435-9321(代) FAX (03)3435-9567  
<http://www.joem.or.jp> E-mail: info@joem.or.jp

JAPAN OPTOMECHATRONICS ASSOCIATION 3-5-22 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo 105-0011, Japan

# 2018 眼光学チュートリアルセミナー 講義内容

7 月 28 日 (土)	9:30   9:45	<b>オリエンテーション</b> 眼光学関係のトピックス。 大阪大学 大学院医学系研究科 病態制御医学専攻 感覚機能形成学 教授 <b>不二門 尚氏</b>
	9:45   10:30	<b>視力、コントラスト感度をよりよく理解するために</b> 視力、コントラスト感度は、網膜像の鮮明度とそれを処理する視覚情報処理系の両方で決まる。本講演では 症例を交えて、日常診療で役立つように、分かりやすく解説する。 大阪大学 大学院医学系研究科 病態制御医学専攻 感覚機能形成学 教授 <b>不二門 尚氏</b>
	(休憩 10分)	
	10:40   11:50	<b>光学入門 - 幾何光学と波動光学 -</b> セミナー全体の基礎となる眼光学について図解を中心に説明し、光の持つ“波の性質”と“光線の性質”とを再確認すると共に、後段の講義への橋渡しをする。 公益社団法人日本視能訓練士協会 事務局長 <b>関谷 尊臣氏</b>
	(休憩 10分)	
	12:00   12:45	<b>水晶体の加齢変化と視機能</b> 水晶体は、加齢に伴い形状や屈折率等が変化し、光学特性や弾性が低下する。水晶体と視機能の関係、機能的役割や加齢変化、眼内レンズとの違いについてわかりやすく解説する。 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学専攻 准教授 <b>川守田 拓志氏</b>
	(昼食 60分)	
	13:45   14:30	<b>眼内レンズによる屈折矯正</b> 眼内レンズ度数計算法について解説する。現在臨床使用されている高機能眼内レンズの光学的特徴および国内外の眼内レンズの最新情報について概説する。 慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 教授 <b>根岸 一乃氏</b>
	(休憩 10分)	
	14:40   15:25	<b>老視矯正眼内レンズ</b> 老視矯正用に、ピンホール眼内レンズ、低加入度の多焦点眼内レンズがあるそのデザインと性能をわかりやすく解説する。 千葉大学 フロンティア医工学センター 客員教授 <b>大沼 一彦氏</b>
	(コーヒーブレイク 15分)	
	15:40   16:25	<b>色覚入門</b> ヒトの感覚である色覚のメカニズム、色の表し方、等、知っておくべき色の基礎について解説する。色覚異常の考え方、色覚検査の原理にも触れる。 帝京大学 医療技術学部 視覚矯正学科 教授 <b>小林 克彦氏</b>
	(休憩 10分)	
	16:35   17:20	<b>眼鏡レンズの最新情報 - 臨床の立場から -</b> 単焦点レンズと累進屈折力レンズの使い分け、累進屈折力レンズの中でも遠近、中近、近近の設計別適応について症例をあげてお話しする。また小児の斜視や弱視の眼鏡についても屈折検査から処方に至る検査を症例をあげて紹介する。 近畿大学 医学部 堺病院 眼科 <b>松本 富美子氏</b>
(休憩 10分)		
17:30   18:15	<b>眼鏡レンズの最新情報 - 技術の立場から -</b> 眼鏡レンズは眼前に正しく装用される必要がある。その際の注意事項を踏まえ、眼鏡レンズ、とくに個人の使用状態に対応したインディビジュアルオーダーレンズについて解説する。 東京眼鏡専門学校 <b>森 峰生氏</b>	
7 月 29 日 (日)	9:00   9:45	<b>波面センサー入門</b> 波面収差とは何か、波面収差の表し方から、波面センサーの測定原理・評価方法、網膜像シミュレーションなど、基本的な内容についてわかりやすく解説する。 株式会社トプコン アイケア開発技術部 要素技術開発課 <b>広原 陽子氏</b>
	9:45   10:30	<b>角膜の波面収差解析～角膜失明疾患への幅広い臨床応用</b> 前眼部 OCT を用いた波面収差の演算法の、遺伝性角膜ジストロフィ、感染性角膜炎後癍痕、水疱性角膜症などメジャーな角膜疾患や角膜移植後への応用と、波面収差が視機能へ与える影響、波面収差を基盤とした治療指針について解説する。 東京歯科大学 市川総合病院 眼科 <b>山口 剛史氏</b>
	(休憩 10分)	
	10:40   11:25	<b>角膜形状解析の新しい展開</b> 角膜形状解析は、屈折矯正手術の術前術後、角膜形状異常の診断に加え、白内障手術の術前にも使用されるようになっており、目的に応じた使用方法について簡潔に解説する。 湖崎眼科 副院長 <b>前田 直之氏</b>
	(休憩 5分)	
	11:30   12:50	<b>眼底観察・立体観察系</b> 眼底の観察・撮影は、瞳孔とレンズ系を通して照明光を入射し、射出される観察光を得ることにより可能となる。様々な観察システムの基本と今後の展望について解説する。 国立病院機構東京医療センター 眼科 医長 / 東京医療保健大学大学院 看護研究科 臨床教授 <b>野田 徹氏</b>
(昼食 60分)		
13:50   14:35	<b>OCT装置のしくみと新しい展開 - 技術の立場から -</b> OCT 装置を眼科応用するための技術的な仕組みをひも解き、眼科用 OCT の有効性を紹介するとともに、現在多方面で進められている OCT 技術の発展を紹介する。 株式会社トプコン 技術本部 技術企画部 部長 / 理化学研究所 量子工学研究領域 チームリーダー <b>秋葉 正博氏</b>	
(コーヒーブレイク 15分)		
14:50   15:35	<b>臨床OCT、撮影と読み方の基礎</b> OCTは正しい方法で撮影を行い、所見を正確に解釈することで初めて有用となる。本講演では撮影にあたってのポイント、および各所見の解釈について分かりやすく解説する。 国立病院機構東京医療センター 臨床研究センター (感覚器センター) 視覚研究部長 <b>角田 和繁氏</b>	

※ 本カリキュラムは講師の都合により、変更する場合がございます。